

日本ポルトガル友好 470 周年記念行事

EDUARDO SOUTO DE MOURA CONCURSOS 1979-2011

エドゥアルド・ソウト・デ・モウラ コンペティション 巡回展

2013.10.1[TUE]-10.8[TUE] | 10:30-16:30 | 入場無料 無休

東京工業大学博物館・百年記念館 1F 展示ホール
Museum & Centennial Hall, Tokyo Institute of Technology

この展覧会は、私の友人であり協力者でもあるアンドレ・カンボスとペドロ・ゲデス・デ・オリヴェイラの発案から始まったものです。2人は、事務所に長年にわたり保管されたままになっていた私の仕事の軌跡を視覚化したいと考えました。

ポルトガルでは、何かを始めようとしてもたいのことが実現不可能に思えます。ところが、彼らは不屈の精神でさまざまな障壁を越え、本展を実現させました。

2人には心からの感謝を捧げます。また、本展開催にご助力いただいたすべてのみなさんにも深く感謝いたします。

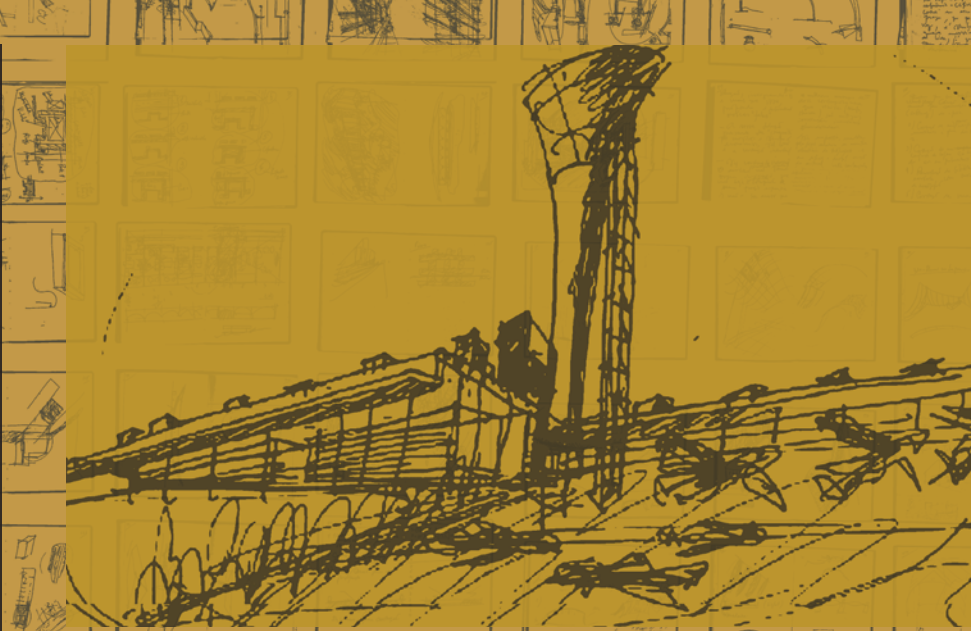
エドゥアルド・ソウト・デ・モウラ

エドゥアルド・ソウト・デ・モウラ

Eduardo Souto de Moura

1952年、ポルトガル第2の都市ポルトに生まれる。

1980年にポルト建築学校を卒業。1975年から79年までアルヴァロ・シザのもとで働き1980年に独立。主な作品にブラガ市営スタジアム、パウラ・レゴ美術館など。多数の国際的な賞を受賞した後、2011年にプリツカー賞を受賞。同賞はポルトガル人建築家としてはシザに次いで2人目の受賞。



シンポジウム

「ソウト・デ・モウラ 空間の質の保存と再生」

Souto de Moura - Preserving Quality of Space and Regeneration

日時：10月5日 [土] 15:00 - 17:00 (14:30 開場)

会場：東京工業大学博物館・百年記念館 3F フェライト記念会議室

定員：先着約 100 名 (無料)

レクチャー：アンドレ・カンボス (AJ Arquitectos)

通訳・対話役：石田 建太郎 (インシダー・キテックススタジオ)

パネリスト：齊藤 哲也 (明星大学)

村田 涼 (東京工業大学)

モデレータ：遠藤 康一 (東京工業大学)

アクセス：〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1

東急目黒線・大井町線大岡山駅下車徒歩1分

東京工業大学大岡山キャンパス・正門脇

お問い合わせ：03-5734-3340

<http://www.cent.titech.ac.jp/>

主催：東京工業大学博物館・世界文明センター・建築学専攻
ポルトガル大使館

協力：インシダー・キテックススタジオ

